

授業の概要 / Course description

科目基礎情報 / Course information	
開講元学部 / Faculty	外国語学部 / FACULTY OF FOREIGN STUDIES
開講元学科 / Department	
登録コード / Registration Code	FES61400
期間 / Period	2023年度 / Academic Year 春学期 / SPRING
学期 / Semester	春学期 / SPRING
曜限 / Period	水 / Wed 5
教室 / Classroom	水5 :
科目名 / Course title	北米地域研究入門A-1 / INTRO. TO AMERICAN STUDIESA-1
授業形態 / Course Type	講義 / Lecture
科目ナンバリング / Course Numbering	ANA201-50j00
レベル / Level	200
教員表示名	コ) 石井 紀子
主担当教員名 / Instructor	石井 紀子 / ISHII NORIKO
単位数 / Credits	2
更新日 / Date of renewal	2023/02/16
講義概要情報 / Course description	
授業実施方法 / Class format	対面授業 / Face-to-face classes only
授業実施方法に係る追加情報 / Additional information concerning the class format	大学の方針に基づき、原則対面で実施予定。授業のためのムードルやその他の情報は初回授業日の前日までに口ヨラにて提供する。
キーワード / Keywords	ANA
アクティブ・ラーニングの実施 / Active Learning	なし / No
授業の概要 / Course description	本講義は北米地域（主としてアメリカ合衆国とカナダを指す）について、多角的かつ学際的な視点から学ぶための入門講座である。北米地域は、日本のみならず、世界各地の政治、経済、社会や文化に大きな影響を及ぼし、世界をリードしてきた。今回の講義では、政治学、経済学、文化心理学、文化人類学、歴史学の専門家が、それぞれの学問分野のアプローチを用いて、対外的には覇権国家として君臨するアメリカ合衆国をかかえ、国内的には多文化共生を模索してきた北米地域がどのようにその意味を模索し、内実化してきているか、内外からの視点を用いて検討する。今年度の講義では外から北米地域の意味を相対化する視点として、中南米、アジア太平洋、ヨーロッパ、アフリカ、ロシアとの関係も視野に入れる。北米地域研究の魅力や意義について考え、議論するきっかけを提供したい。
ディプロマ・ポリシー（DP）との関連（対応するポリシーは、科目開講元のポリシーである。借入れ科目の場合は、カリキュラムマップを参照のこと） / Correspondence to Diploma Policy of the offering Faculty and Department (Students who belong to other faculties and departments, check Curriculum Map of your faculty and department)	
到達目標（授業の目標） / Course objectives	北米地域研究に関する基礎地域と様々なアプローチの習得
授業時間外（予習・復習等）の学習 / Expected work outside of class	各教員が指定する予習・復習を行うこと。
授業1回あたりの授業時間外（予習・復習等）の学習時間 / Length of time for work expected outside per class	授業一回あたり190分以上の予習復習の学習
他学部・他研究科受講可否 / Other departments' students	可 / Yes （総合グローバルの学部生のみ） ※要覧記載の履修対象とする年次を確認すること。 Please make sure to confirm the student year listed in the bulletin.
評価基準・割合 / Evaluation	出席状況 / Attendance (10.0%) 小テスト等 / Quizzes.etc. (90.0%)

	その他/Others(in detail) : 出席はリアベの提出でみなす。出席は10点満点。 1 回欠席ごとに10点から2点づつ引かれる。
テキスト (教科書) /Textbook	小テスト (宿題) は90点満点、9回の小テストを各10点満点で評価する。 自由記述/Free Text のテキスト (教科書) は以下をご購入ください。 他、適宜担当教員がムードル上で資料を提供する。
テキスト (教科書) 1/ Textbook1	著者名/Authors : 上智大学アメリカ・カナダ研究所 書名/Title : 北米研究入門2 : 「ナショナル」と向き合う 出版社・出版年/Publisher.Year : ぎょうせい、2019年
授業で使用する言語 (日本語以外) /Required languages (other than Japanese)	英語

講義スケジュール/Schedule

授業計画/Class schedule	1.イントロダクション (石井紀子、英語学科)
	2.「アーミッシュからみる北米地域」石井紀子 (英語学科) 北米地域には自動車や電気を否定し、近代文明に背を向けながら19世紀さながらのライフスタイルを守っているアーミッシュというキリスト教一派の人々がいます。発祥の地ヨーロッパではほぼ消滅したのに、なぜ近代文明の最先端の地、北米地域では20万人にまで増え続けているのでしょうか。アーミッシュの事例を通してアメリカにおける信教の自由、政教分離の問題を考えていきます。
	3.「北米研究と歴史・地理学」小塩和人 (英語学科) この講義では、これまで北米という「場」がどの様に認識されてきたか、という問いについて考えてみます。たとえば、北アメリカ大陸という言葉聞いた時わたしたちは何を思い浮かべるでしょう。多様な人間社会 (に内在する人種・ジェンダー・階級といった境界)、カナダ・アメリカ合衆国・メキシコという国家、あるいは「国境」をまたぐ通商や防衛問題、でしょうか。今回は、こうした空間を可視化した「地図」で、地理認識を時系列的に検証してみます。履修者の皆さんには、授業中たくさんの地図をフリーハンドで描いてもらう予定です。第1章「北米地域を歴史・地理的に研究する」アメリカ・カナダ研究所編『北米研究入門 2 ―「ナショナル」と向き合う』(上智大学出版、2019年)を予め読んでおくことを強くお勧めします。
	4.「北米研究と地域・境界研究」小塩和人 (英語学科) 前回の講義を受けて、古い北米研究が残した諸課題を克服すべく登場した新しい地域研究について考えてみます。たとえば、「国民国家」「例外主義」といった考え方、とくに「〇〇中心主義」といって批判された捉え方が、どのように乗り越えられるのか、「多文化」「主体/客体」「遭遇」などの操作概念をご紹介します。そして、最終的に考察して欲しい二つの命題は「加墨という国家単位から北米大陸を一つの地域と捉える研究へと変化した要因とは？」と「新しい北米地域研究モデルの類似点と相違点、さらには残された課題とは？」です。第1章「北米地域を歴史・地理的に研究する」アメリカ・カナダ研究所編『北米研究入門 2 ―「ナショナル」と向き合う』(上智大学出版、2019年)を予め読んでおくことを強くお勧めします。
	5.「ブラック・アトランティックの一角としてみる米国」矢澤達宏 (ポルトガル語学科) 米国の住民のなかには少なからず黒人が存在し、それがもたらしたアフリカから奴隷として連れてこられた人びとの子孫であることは誰もが知っている。では、ルーツであるアフリカは彼らにとってどのような意味を持ってきたのか。そして、アフリカとの関係性には米国の黒人たちのどのような状況が映し出されてきたのか。また、ラテンアメリカ地域にも多数存在する黒人たちとのあいだには、どのような関係性がみられてきたのだろうか。黒人が広がる大西洋世界のなかでみたとき、米国 (の黒人) ははたしてどのような位置を占めてきたのか探してみたい。
	6.「北米地域の交差点としてのニューオーリンズ」山中美潮 (英語学科) アメリカ・ルイジアナ州にあるニューオーリンズは、1718年、チティマシャの人々が住んでいた土地にフランス人が建設した街であり、ミシシッピ川とメキシコ湾を通じ北米大陸と中南米・大西洋を結ぶ玄関口としての役割を果たしてきた。またニューオーリンズは19世紀前半にはアメリカ最大規模の国内奴隷市場を持つと同時に多くの自由黒人が住まう都市でもあった。本講義では、「環大西洋世界」を切り口にニューオーリンズを事例とし、アメリカにおける奴隷制や奴隷解放後の「自由」の持った意味について考えたい。
	7.「今日を生きる北米地域の先住民」水谷裕佳 (グローバル教育センター) 北米地域には多様な先住民文化が栄え、現在でも同地域には多くの先住民の人々が生活している。先住民の人々に関する画一的なイメージはどのように生まれたのか、そして今日における彼らの現実的な姿とはどのようなものであるのか、講義や映像を通じて紹介する。
	8.「先住民学生と北米地域の大学」水谷裕佳 (グローバル教育センター) 北米地域の大学では、多くの先住民学生が学んでいる。さらに、多くの大学では、先住民の歴史や社会、文化等について、先住民以外の学生も学べる授業が開講されている。その現状を紹介し、先住民と教育の関係性について考える。
	9.「フランスのハワイアンたち」飯島真里子 (英語学科) 第二次世界大戦中に、日系アメリカ人二世はアメリカ軍として従軍し、ヨーロッパ戦線で戦い、ナチスドイツ軍の支配から町を解放しました。その一つが、フランスのプレイエルという町です。現在でも、その町では犠牲となった日系二世兵の慰霊祭が毎年行われています。今回の講義は、私のフィールドワークを話を交えながら、「周縁 (マージナリティ)」をキーワードにプレイエルと日系兵の関係史について話します。
	10.『北米』の中のメキシコ―消える国境と残る国境 谷洋之 (イスパニア語学科) メキシコは、いわゆる中南米諸国の1つとして分類されているが、アメリカ合衆国とは3000キロにも及ぶ国境で接しており、古くから経済的・社会的関係が深かった。とりわけ1980年代から見られたメキシコでの経済構造改革と1994年に北米自由貿易協定(NAFTA)を発効したことから、米墨間で経済統合過程が大きく進んだと考えられている。しかし、これらの国境は一概に低まったわけではない。この講義では、ここおよそ25年の間にどのようなことが起こり、それがどのような意義や問題を有しているのかを明らかにするとともに、それが私たちの生活とどのように関わっているのかを考えていく契機としたいと考えている。
	11.「米口関係をとらえる視点」安達祐子 (ロシア語学科) 主に経済とエネルギーを軸として、アメリカとロシア両国の関係の展開と背景、および国際関係への影響について考えていく。
	12.「ホワイトネス (白人) の心理学」出口真紀子 (英語学科) 北米では「白人」という人種のカテゴリーが設けられているが、最初から「白人」というカテゴリーがあったわけではない。その歴史的背景を学び、「白人」であるがゆえに伴う権力・特権、および人種的マジョリティであることから生じるレイシャル・アイデンティティ形成について考える。
	13.「北米の人々の心理学」出口真紀子 (英語学科) 北米の人々と日本人の間には心理学的にどのような違いがあるのだろうか。文化的自己観の違いをはじめとする、様々な心理学の概念や研究を紹介しながら考える。
	14.まとめと振り返り 石井紀子 (英語学科)
課題等に対するフィードバック方法 /Mediums for feedback to students	口頭で行う/verbally 上記以外で行う/using other mediums
課題等に対するフィードバック方法 に係る追加情報	教員によって上記以外でフィードバックを行う場合もある。

/Additional information
concerning mediums for
feedbacks